

2022 年度版「金融内部監査士養成コース」TEXT 7  
誤記のお詫び・訂正と補足について

標記通信講座のテキストにおきまして、内容の一部に誤りがありました。誠に申し訳ございません。お詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正いたします。また、一部に補足がありますので、ご利用くださいますようお願い申し上げます。

## 記

## P.203 11 行目～12 行目

(誤)

また、ベンチャー企業向けの市場として、東証マザーズおよびジャスダック、名古屋証券取引所のセントレックスなどがあり、～

(正)

また、ベンチャー企業向けの市場として、東京証券取引所のグロース市場、名古屋証券取引所のネクスト市場などがあり、～

## P.203 脚注(6)についての補足

しかし、これらの市場区分については、各市場区分のコンセプトが曖昧であり、多くの投資者にとっての利便性が低い、具体的には、市場第二部、マザーズ、JASDAQ の位置づけが重複しているほか、市場第一部についてもそのコンセプトが不明確、等の課題があった。東京証券取引所は、課題を踏まえて市場区分の見直しに向けた検討を進め、令和 4 年 4 月 4 日に、「プライム市場・スタンダード市場・グロース市場」の 3 つの市場区分をスタートさせた（名古屋証券取引所も同様に区分を変更）。

(参考) 東京証券取引所HP

<https://www.jpx.co.jp/equities/market-restructure/market-segments/index.html>

名古屋証券取引所HP

<https://www.nse.or.jp/listed/improvement/>

以上